

ミネルヴァ書房用出版企画担当部分構想

ポピュラーカルチャー時代におけるミュージアム・イメージの拡張（仮）

【位置付け】

ポピュラーカルチャーが時間・空間を超えてアーカイブ化されている文化施設を訪ねる本企画において、逆にミュージアムというアーカイブの場がポピュラーカルチャー化している現象に着目する。

【分量】 図表を含めて 50 枚

【構成】

1. はじめに
2. ミュージアムの拡張からミュージアム・イメージの拡張へ
3. モードとしてのミュージアム——雑誌媒体の言説分析
 - 3.1 ファッション誌・ライフスタイル誌を分析する
 - 3.2 書かれた衣服、書かれたミュージアム
 - 3.3 イメージの効果とパターン
 - 3.4 その他の雑誌
4. さいごに（まとめ）

【概要】

ミュージアムのポピュラーカルチャー化が起きていることを物語る手段として、ヨーロッパにおけるミュージアムの拡張現象が、日本においてミュージアム・イメージの拡張として展開されていることに注目し、それがどのように為されているのかについて、具体的な分析を行った。